

# 高等学校におけるSDGsと国際理解教育の実践活動報告

NPO法人民族フォーラム理事 皮籠石 成久



## 1 はじめに

一昨年(2017年)の11月21日(木)の午後、埼玉県南部の埼玉県立W高等学校で「持続可能な社会を生きるグローバル人材育成授業」が行われた。NPO法人民族フォーラムの活動内容について説明をして下さいとの依頼(埼玉県NGO ネット)があり、私と理事長、事務局長の3人で高校1年生を対象とした出前授業を行った。

## 2 授業目標と授業内容

今回の授業の目標と授業の内容については以下に述べる。

対象：高校1年生全員、365人(9クラス)

目標：SDGsの達成に寄与する国際貢献活動について自分の進路と結び付けて将来設計を考える。

授業枠：総合的な学習(キャリア教育の視点でも授業構成を進める)自分しかできない人生の生き方を見つける。(将来計画)

授業日：2019年11月21日(木)

14時25分～15時30分

学習形態：グループワーク形式、前半と後半に分かれ9グループが選択した9つの国際関係団体のいずれかの説明を受ける。

授業内容：前半20分、後半20分(異なるグループに説明する)

3分・自己紹介(在外教育施設派遣教員・管理職での経験、スタディツアーの計画実施、国際理解教育とNPOとの関わり)

15分・民族フォーラムについての紹介と説明  
(アジアの自立支援活動、多文化共生社会でのベトナム、ミャンマー、バングラデシュでの実践、スタディツアーの実施とSDGsの位置づけ)

※生徒にとって遠い存在であるベトナムやミャンマーについて学習。国旗の意味、世界地図での位置の確認。どのような自立支援活動を行ってきたか説明。  
※グローバル人材育成の一つとしてのスタディツアーの実践(ベトナム、台湾、中国)

2分・振り返り(生徒がこれからの将来設計

にどう活かしていくか発表)

教材・資料：

- ①写真「ベトナム視覚障がい者への支援活動」「ミャンマーへの消防車、救急車の無償供与」「バングラデシュでの看護師育成活動」「学生・社会人スタディツアーの活動」
- ②国旗「ベトナム」「ミャンマー」「バングラデシュ」
- ③ベトナムボックス(遊び道具や民芸品等)
- ④アニメの本「ワンピース」日本語版、英訳版、ベトナム語版、インドネシア語版、中国語版



「外国を知って、日本を知る。日本を知って外国を知る。両方知って国際化になる。」  
兼高かおるさんの言葉を授業後半で引用

## 3 終わりに

授業の最後に、私が生徒に伝えなかった事は、これから「社会的・職業的自立を目指して、持続可能な自分しかできない人生の生き方を見つけてください。」である。将来設計を期待したい。更に司会者の生徒から「本日の授業では、SDGsの具体的な事例紹介があり国際理解教育の視点で、ベトナム、ミャンマー、バングラデシュの理解を深めるきっかけになった。」との感想があった。「20分の一発勝負の授業では深みがない」等、授業後の反省点はいくつかあったが次の機会に活かしていきたいと思う。